

はるかな尾瀬

— 目 次 —

- 02 特集① 第4次尾瀬総合学術調査について
- 05 特集② 新尾瀬沼ビジターセンターオープン
- 07 現地情報 番外編 ブログで振り返る令和3年度シーズン
- 09 令和3年度尾瀬保護財団の主な活動
- 10 令和4年度シーズンの尾瀬についてのお知らせ
- 11 尾瀬ボランティア情報
- 12 特別プレゼント企画
- 13 寄付型自動販売機
- 14 尾瀬保護財団からのお知らせ



2022.4 vol.48
(公財)尾瀬保護財団



「早春静寂」(第25回NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテスト入選作品)

撮影：桐生 武氏

特集①

第4次尾瀬総合学術調査について

新型コロナウイルスが初めてみられてから、もう2年以上も経ちました。尾瀬の保護・保全やエコツーリズムに関わる皆さんをはじめ、尾瀬に特別な想いを抱く皆さまは、これまでと同じように尾瀬に行けず歯がゆい思いをされている方が多いのではないのでしょうか。雄大な尾瀬の大自然に身を置くことは密とは思いますが、ちですが、すれ違いの時の挨拶や、見知らぬ人であつても尾瀬の自然について語り合える空気が一変したと感じました。個人的には、尾瀬の木道などですれ違った時に当たり前のようについていた明るい挨拶が下火になってしまったことがショックでした。



背中アブリ田代から望む至仏山

私は群馬県立自然史博物館で地質・岩石・鉱物分野の学芸員をしています。当館の常設展示室には尾瀬シアターを始めとする尾瀬の展示があり、尾瀬学校の事前学習や雨天の時の尾瀬学習にも利用されています。尾瀬の研究が少しずつ進むにしたがつて、1996年に建てられた当館

の尾瀬の展示に新しい内容を盛り込みたいと思うようになってきました。特に第4次尾瀬総合学術調査では、多くの研究グループが尾瀬地域に入り、最新の技術や知見をもって調査にあ

たっており、ここ数年のうちに報告される研究結果が注目されます。私は数少ない地質関係の研究員として第4次尾瀬総合学術調査に関わり、尾瀬の未知なる事実を追い求めて調査をして



平滑ノ滝付近の溶結凝灰岩の石段

きました。調査期間が終わった後も、補完調査などで継続的に調査に出かけています。昨今、生物多様性という言葉は一般にかなり浸透してきた言葉だと思いますが、そこまで知られていないジオ多様性という言葉があります。「ジオ」というのはジオパークで使われる「ジオ」と同様に地球を意味しますが、具体的には、地質、岩石、鉱物、土壌、水、地形、風、気温、景観などの地球表層の無機的な自然の要素を指します。そしてこのジオ多様性は生物多様性の基礎となる部分としてお互い繋がっている関係にあります。つまり、ジオ多様性から生物多様性を紐解くこともでき、その逆もまた然りです。イメージとしては、ジオ多様性、生物多様性、文化多様性をピラミッド状に下から順番に重ねた関係を考え、これを基に尾瀬の自然を見ることで広い視野を持つて考えることができます。したがって、私は地質・岩石の専門家ではありませんが、多様性の繋がりを意識して尾瀬の自然を見て、研究に反映させるようにしています。

例えば、至仏山の大部分はマグネシウムに富む蛇紋岩という岩石でできています。至仏山の蛇紋岩地帯の土壌はマグネシウムに富む傾向があります。マグネシウムが比較的多い土壌は植物の生育阻害を起こすことが知られており、このような場所ではそれに耐えうる植物が自生します。



三条ノ滝の滝壺付近への降下風景

おそろしくうじした蛇紋岩地に自生する植物の周りに棲息する菌類や昆虫もいることでしょう。蛇紋岩地にできた登山道では、何度も踏み磨かれ黒光りした蛇紋岩を見ることがあります。こうした蛇紋岩は水に濡れると極めて滑りやすいので注意する必要があります。このように至仏山の蛇紋岩ひとつでも多様性の要素または多様性どうしの繋がりがあり、これらのことは尾瀬のツーリズムで語るストーリーに直結しているでしょう。



温泉沢堆積物

尾瀬研究のテーマは多岐にわたりますが、尾瀬の謎のひとつは成因です。つまり、尾瀬ヶ原、三条ノ滝、皮籠岩、牛首などがどのような形でできたのか、というようなことです。「なぜこんな形をしているのか」、「一体どこからきたのだろう」、「いつできたのだろう」、「昔はどうだったのだろう」というのは一般の人が自然を見た時にまず思い浮かぶ疑問です。特に地形の謎を解く鍵はその地形を構成する岩石の性質や、地形を形作る風化・浸食の主な要因である水や雪氷であることが多く、地質学的調査・研究が大いに役立ちます。

尾瀬で必要とされる地質・岩石学的テーマのうち、最も基礎的でありながら重要なのは、尾瀬周辺を構成する岩石の性質を明らかにすることです。もちろんこれまでの研究で、例えば至仏山は蛇紋岩、景鶴山・アヤマ平は火山岩や火山性堆積物、三条ノ滝周辺は花崗岩というような地質概要は明らかにされていますが、現地での写真はほとんど示されていません。また、顕微鏡観察に基づく岩石の詳細な性質もほとんど公表されていないので、成因を推定するための情報が少ないのが現状です。

尾瀬の滝の成因はエコツーリズムで語られるストーリーを豊かにするため、ぜひ調べたいところです。鳩待峠から遠い場所に位置しますが、

尾瀬の名瀑「三条ノ滝」は落差約100mを誇り、景観だけでなく流れ砕け落ちる水の音も圧巻です。尾瀬ヶ原から歩いて行くと、三条ノ滝に到着途中の展望台から、眼下の只見川に平滑ノ滝を見ることができます。平滑ノ滝を作る只見川の河床は、展望台の足下と同じ「溶結凝灰岩」でできています。これは、火山灰や軽石が積もり、自らの熱と重みで部分的に溶け押し潰された岩石で、押し潰されてきたために、層状の構造が発達していることがあります。平滑ノ滝展望台から三条ノ滝へ進むと、石段があります。これは溶結凝灰岩の層状構造を利用して扁平に割れた面を踏むように置かれています。

一方、三条ノ滝周辺は前述の通り、花崗岩というマグマがゆっくり冷えてできた白っぽい岩石でできています。私は、三条ノ滝がどのようにしてできたのか探るため、2019年7月にNHKと共同で三条ノ滝の滝壺付近に降下し、岩石を採集しました。ザイルを使って滝壺直下から約100m下流側に下り立ちましたが、同行した取材班の声も聴き取れないほどの轟音と、常に霧吹きでかけられているかのような滝から届く霧状の水飛沫で全身すべ濡れになり、身を以て三条ノ滝の豪快さを経験しました。滝壺付近も三条ノ滝展望台周辺と同様に花崗岩でできていましたが、この周辺の花崗岩には割れが多く変形していることに気付きました。本来ならば、クリノ



藪



背中アプリ田代のシカ道



大白沢山

メーターという地質調査に使う方位磁石で、この花崗岩地帯の割れの方向を測り、変形した花崗岩がどのような力を加えられたか調べるところなのですが、花崗岩の割れた面に当てた方位磁石の針は多くの場合ぐるぐると回り、正しい北の方角を示さないのです。花崗岩には磁性を持った鉱物が沢山含まれるようで、これが邪魔をして方角に関する正しい情報を読み取れません。この研究はここで止まっており、今後測定方法を考えデータを取りに行く予定です。



皮籠岩

尾瀬ヶ原がいつ・どのようにできたのか、かつてはどのような環境だったのかということ調べる鍵のひとつは尾瀬ヶ原の水の出口付近の地層にあります。第3次尾瀬総合学術調査以前に阪口豊さんは只見川沿いの地層（温泉沢堆積物）の記載を行い、尾瀬ヶ原の成り立ちに関する考察をしています。私もその意志を引き継ぐべく、引き続き

きこの地層の調査を行っています。そのほかにも、尾瀬周辺の山々の岩質を調べるオーソドックスな地質調査をしています。尾瀬地域は極めて良好に保護されているため、人の踏み跡がほとんどありません。湿原で見られるのはシカ道で、調査時には踏み荒らしを避けるため、できるだけシカ道を利用しています。一歩山に入るとほとんどが未踏の藪なので、雪が藪の上に乗っている残雪期



景鶴山

に効率良く地質調査を行うことができます。例えば、大白沢山直下の崖には大白沢山を構成する火山岩が露出していますが、雪がなければアクセスできない場所の岩石を採集することができます。もちろん崖の上の雪庇には十分注意して近づく必要があります。この時の調査では、残雪期に大白沢山から景鶴山へ縦走し、ヨッピー橋付近まで南下するルートで調査を行いました。

また、山小屋の支配人や尾瀬ガイドの方々からお聴きした皮籠岩の謎について明らかにする研究も進めています。先に述べた景鶴山経由の調査はこれに関わるものです。皮籠岩の起源が景鶴山であるという伝説が事実かどうかという話は、ガイドが語れるストーリーになるためこの調査をすることにしました。この研究結果についてもまた詳しくお話しする機会があれば良いと思っています。

実は、コロナウィルスが世界に蔓延する以前に、尾瀬保護財団から尾瀬ボランティア総会でお話しする機会をいただいたのですが、対面での総会が中止になってしまったため、尾瀬に関わる方々との繋がりをもちと持たたいという気持ちを抱いたまま現在に至ります。私が尾瀬で体験したことや研究の成果・進捗についてはいつかぜひ皆さまにお伝えしたいと思っております。雑駁ではありますが、今回はこれまで私が行ったきた調査・研究の概要だけお伝えして筆を置かせていただきます。

菅原 久誠（すがわら ひさなり）

群馬県立自然史博物館学芸員。第4次尾瀬総合学術調査の調査員。専門は、フィールド地質学、ジオパーク学、アストロバイオロジーなど。自然史博物館の学芸業務だけでなく、日本ジオパーク委員会委員やみなかみユネスコエコパークのインタープリター講習の講師、国指定特別天然記念物の検討委員会委員として、大局的視点から自然の調査・研究・活用を考える活動を行っている。

特集②

新尾瀬沼ビジターセンターオープン！

尾瀬保護財団が環境省から管理運営を受託している尾瀬沼ビジターセンターは、福島県側の尾瀬の情報発信拠点として最初の建物が昭和39年に尾瀬沼の東岸に建設されました。昭和61年に同じ場所に二代目となるビジターセンターがオープンしましたが、オープンから30年以上が経過し老朽化が著しいことから、三代目となる新ビジターセンターの建設が決まりました。

新しい尾瀬沼ビジターセンターは、旧ビジターセンターの南側の土地で平成27年から工事が始まり、ようやく昨年7月に三代目となる新ビジターセンターが完成・オープンとなりました。令和2年11月に建物が完成して、翌年6月に内部の展示工事が完了し、7月に関係者が集まり開所式典を行いました。

尾瀬のシーズンはとても短く、ほぼ半年が雪に閉ざされてしまうので作業できる期間も限られ、また尾瀬には車両が入ることができないので工事に必要な資材や重機も大型ヘリコプターで上げなければならぬなど、いろいろな制約があり大変な作業だっただろうと想像できます。

今回のビジターセンター建て替えは、環境省による尾瀬沼集団施設地区再整備計画の一環で、他に尾瀬沼公衆トイレの改修、周辺の木道の整備、テラスの整備なども行われています。



尾瀬沼集団施設地区再整備計画によれば、役目を終えた旧ビジターセンターが解体・撤去された後、令和7年をめどに跡地に新しくウッドデッキの中央広場が建設される予定と聞いています。

ビジターセンター内部は常設展示エリア、企画展示エリア、レクチャールームと大きく3つに分かれており、その他に事務室、会議室、倉庫などがあります。まだピカピカの館内なので、入口で「土足でいいですか」と尋ねる方も多くいらっしゃいます



が、(入口で泥等を軽く落として) どうぞ靴のままお入りください。正面から入ると、天井が高く明るい展示室が広がっています。そして壁材に福島県産の杉を使っているのです、そのよい香りにも気づくと思います。

右手に受付カウンター、そして常設展示エリアが広がり、左手のスペースが企画展示エリア、その奥がレクチャールームとなっています。コロナ対策で受付カウンターにはアクリル板を設置しておりますが、常時職員がおりますので、お気軽に声をかけていただきたいと思います。

常設展示エリアには、尾瀬の特徴、尾瀬の成り立ち、尾瀬の植物、尾瀬の野鳥、尾瀬の昆虫・両生類・魚類、尾瀬の動物、標本展示ツキノワグマ、尾瀬に生息する哺乳類の剥製や毛皮展示、ニホンジカ、歩荷、尾瀬の歴史、尾瀬の自然環境を守る取り組み、尾瀬沼周辺の最新情報、ネイチャーツアーデスク案内の展示などがあります。

職員が巡回で収集した尾瀬の情報は、入り口すぐ左手の「尾瀬情報コーナー」に掲示しております。

企画展示コーナーでは、空から見た大江湿原、尾瀬に生息する動物たち（オコジョとヤマネ）、燧ヶ岳の各登山道の様子、尾瀬沼周辺で見られるお花、ビジターセンターおすすめスポットなどを展示しました。今後、皆様のご意見を伺いながら新しい企画展示についても計画していきたいと思っております。



入口のテラスは屋根付きで、旧ビジターセンターのテラスよりもかなり広くなっています。旧ビジターセンターのテラスは、あまり広くなかったのですが、雨になると雨宿りの人たちですぐにいっぱいになってしまいました。新ビジターセンターのテラスは、かなり広くなっています。で、長椅子の数も多く、雨宿りをされる時にも多くの方に利用していただけるものと思います。レクチャールームも明るくなり、映像機器も新しくなりました。週末の夜には、定番となっている「夜のスライドショー」を開いております。また小中学生向けのプログラムなどにもご利用いただいております。未来を担う子どもたちにこそ、尾瀬の自然に関心を持ってもらい、大人になってからも尾瀬に足を運んでいただきたいと考えています。イベントがない時には、オリジナルの尾瀬の映像を流して開放しておりますので、映像をご覧になりながら休憩スペースとしてご利用ください。

それ以外に星空観望会、ナイトハイクなどのイベントも開催しております。尾瀬では人工的な明かりがほとんどないので、天気によければ天の川とともに満天の星をながめることができます。

ナイトハイクでは、尾瀬の暗闇を体験したり、ライトを照らして二ホ

ンジカを探したりします。ナイトハイクに参加された方は、暗闇のシーンと静まり返り何もいらないように思える場所で、ライトに照らし出された二ホンジカを見つけて、驚くと同時に本当に尾瀬にシカが入っていることを実感しているようにでした。

昼間のイベントとしては、毎朝9時30分から自然観望会「尾瀬を感じるミニツアー」を開いております。新ビジターセンターのオープンを機に午後にも開催して、午前と午後の計2回実施するように変更しました。1回30分程度ですので、お気軽にご参加ください。皆様のご参加をお待ちしております。すべてのイベントは、新型コロナ対策のため人数制限のうえ当日予約制とさせていただいております。皆様のご理解とご協力をお願いします。

ビジターセンターの建物は完成したのですが、実は外構工事が完成していません。まだ靴洗いが使えないのです。外構工事は令和4年度になると聞いております。燧ヶ岳登山等で汚れた靴を洗いたい時は、しばらくの間、旧ビジターセンターの靴洗い場をご利用いただきたいと思います。外構工事が完成して、さらに中央広場が完成すれば、この場所がさらに多くの方が集う場所になると思います。

私たち職員も日々研鑽を積み、ああビジターセンターに立ち寄ってよかった、イベントに参加してよかったと言ってもらえるように努力工夫していきたいと思っております。尾瀬においでの際には、ぜひ新尾瀬沼ビジターセンターにお立ち寄りください。また気づいた点があれば、遠慮なくご指摘いただければ幸いです。皆様のお越しをお待ちしております。

(阪路善彦)



ブログで振り返る 令和3年度シーズン

5月12日 (山の鼻ビジターセンター開所式の様子)
～山の鼻ビジターセンターより～

本日、尾瀬山の鼻ビジターセンターが開所し、近隣の山小屋さんと今年度の安全を祈願いたしました。コロナ前と違い、小規模な開催となりました。

5月15日 (本日開所しました)
～尾瀬沼ビジターセンターより～
本日、尾瀬沼ビジターセンターが開所となりました。



5月24日 (開花宣言)
～尾瀬沼ビジターセンターより～
尾瀬沼は雪解けが例年より早く、大江湿原に雪は見られなくなりました。当然、期待するのは色とりどりの花です。そして、ついに桜の花が開花しました。尾瀬沼の春到来という感じです。

5月28日 (尾瀬ヶ原の様子)
～山の鼻ビジターセンターより～

昨日までの雨や曇りの天気から、今日は青空や日差しも強く清々しい一日でした。尾瀬ヶ原では、鳥のさえずりが聞こえ、花々もミスバショウやリュウキンカその他、色々な花が咲きはじめました。下ノ大堀川ビュースポットのミスバショウ、東



電小屋近くのミネザクラは満開でした。

5月29日 (尾瀬シーズンの始まり)
～尾瀬沼ビジターセンターより～

今日は尾瀬山開きで、始発バスに乗るために御池に着くと、駐車場にはすでに50台ほどの自動車が止まっています。バスに乗るための列には、どなたもしっかりとマスク装着で並んでいました。



5月31日 (氷点下0.5℃の朝)
～尾瀬沼ビジターセンターより～

放射冷却が進み気温は4時7分に氷点下0.5℃を記録し大江湿原は遅霜が降りとても冷たい朝となりました。テント泊をされた方にお話を伺ったところ「それなりに準備はしてきていたけれど、とても寒かったです。」「星空、よかったです。」「と仰っていました。



6月8日

(大江湿原をシカから守る)
～尾瀬沼ビジターセンターより～

湿原では、せつかく芽吹いたニッコウキスゲをシカが食べています。大江湿原の自然を脅かすシカの存在は放っておけません。この後も少しずつ延長し、数日後には、大江湿原全体を囲む予定です。このようにして尾瀬の自然が守られています。



6月14日 (ビジターセンター展示室オープン)
～山の鼻ビジターセンターより～

本日、山の鼻ビジターセンター展示室が開館となりました。ビジターセンターは5月12日に開所しましたが、その後、群馬県のまん延防止等重点措置が施行され、窓口対応のみとなりました。

6月16日 (鳩待峠～山ノ鼻間の様子)
～山の鼻ビジターセンターより～

サンカヨウ(山荷葉)が鳩待峠から少し下がった所で咲いています。



7月1日 (雨奇晴好)
～山の鼻ビジターセンターより～

開山となった至仏山は、森林限界から山頂部にかけて一日中雲の中でした。この時期は特に天候の急転もあり、気温が急激に下がる場合があります。しっかりとした登山装備を準備していただき安全な登山をお楽しみください。



7月4日 (夏山開き)
～尾瀬沼ビジターセンターより～

今日は燧ヶ岳の夏山開き。朝6時に記念のバッジを受け取って出発される登山者の方もいらっしゃいました。昨日3日(土曜)は会津駒ヶ岳の夏山開きでした。

7月16日 (新尾瀬沼ビジターセンター開所式典)
～尾瀬沼ビジターセンターより～

地元の小中学生を交えたテープカットが行われ、拍手の中に新尾瀬沼ビジターセンターオープンが印象づけられました。



7月17日
～山の鼻ビジターセンターより～

(梅雨明けの尾瀬ヶ原)
現在、ニッコウキスゲが東電下の大堀橋とヨッピー吊橋の間の湿原でたくさん咲いています。ニッコウキスゲが見たい方にはお勧めです。

8月1日(小沢平での外来種駆除作業)
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

昨日、尾瀬関係者、ボランティアアさんが小沢平に集合して、オオハンゴンソウの駆除作業を行いました。

8月5日(避暑地へ、ようこそトンボさん)
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

尾瀬沼周辺は、下界の暑さを逃れて上ってきたトンボであふれています。

指先を天にかざすと、トンボが羽を休めに止まるかもしれませんよ。



8月6日(夏から秋へ)
〜山の鼻ビジターセンターより〜

熱中症警戒アラートが発令されるほどの暑い日が続いていますが、尾瀬ヶ原では、季節は少しずつ秋へと向かっています。たくさん咲いていたキンコウカは、そろそろ終盤。葉の先が色づいてきています。

8月8日(尾瀬のツキノワグマのお話)
〜山の鼻ビジターセンターより〜

数日前から山ノ鼻周辺でのミスバシヨウの実を食べているツキノワグマの目撃が相次いでいます。

8月23日(尾瀬ヶ原の様子)
〜山の鼻ビジターセンターより〜

現在、尾瀬の各地で木道整備のための作業や準備をしています。(長沢新道、下ノ大堀川、山ノ鼻地区他) 尾瀬の自然を守るため、尾瀬で安全に歩けるために、たくさんの方々と費用がかかっています。



8月24日(尾瀬沼の様子と新聞掲載のお知らせ)
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

タレントで環境省「福島環境・未来アンバサダー」のなすびさんが尾瀬沼ビジターセンターに福島民報の「自然と生きる」の取材で訪れました。

9月7日(尾瀬の最終ランナー)
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

大江湿原を歩いてみると、尾瀬のお花の最終ランナーの「エンリンドウ」が今にも咲きそうでした。



9月12日
(十二山神祭と秋の訪れ)
〜山の鼻ビジターセンターより〜

9月12日の今日は十二山神様を祀る「十二山神祭」が山ノ鼻で行われ、登山者など、訪れる皆様の安全を祈願いたしました。



9月18日(尾瀬ヶ原の様子)
〜山の鼻ビジターセンターより〜

ヤマドリゼンマイは色が変わり、草紅葉の湿原の中でひときわ目立つ存在です。

9月22日
(会津駒ヶ岳巡回)
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

雲が一つも無い青空で、お日様に照らされた草紅葉がキラキラと反射して眩しかったです。会津駒ヶ岳山頂からの眺めです。中門岳へ続く稜線が、どこまでも続いて、息をのむ美しさです。



10月4日(星空観察会の様子)
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

大江湿原の尾瀬看板付近での星空観察会。夏の三大星や星座をレーザーポインターでご案内しましたが、「星が多すぎて、どれがどの星か逆にわからない。」との声も聞かれるほどでした。

10月21日(鳩待峠から)
尾瀬ヶ原の積雪の様子)
〜山の鼻ビジターセンターより〜

標高1591mの鳩待峠で10cmの積雪でした。



10月31日(本日で閉館です)
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

今年はコロナ禍でしたが、7月に新尾瀬沼ビジターセンターがオープンした節目の年でもありました。いろいろあった半年でしたが、多くの方々に支えられて、どうにかシーズンを終えることができました。

「ログ見たよ」の声に励まされ、皆様に楽しんでもらえるように、尾瀬の日々を発信してきました。今年度も本当にありがとうございました。また来シーズンも尾瀬で、ブログでお会いしましょう！



山ノ鼻ビジターセンター・尾瀬沼ビジターセンター
職員一同

令和3年度尾瀬保護財団の主な活動（令和4年2月現在）

4月14日	至仏山残雪期調査実施
5月10日	尾瀬ガイド協会理事会（書面）
12日	尾瀬山の鼻ビジターセンター開所
15日	尾瀬沼ビジターセンター開所
6月7日	林野庁による大江湿原シカ柵設置作業に参加
8日	尾瀬保護財団第34回理事会（定時・web）
18日	至仏山東面登山道整備（柵立て）実施
21日	福島県尾瀬地区植生復元調査実施
23日	尾瀬保護財団第16回評議員会（定時・web）
26日	至仏山保全対策会議現地視察
28・29日	福島県尾瀬地区植生復元調査実施
30日	ツキノワグマ対策協議会によるテンマ沢湿原の刈り払い作業参加
7月2日	尾瀬沼ビジターセンター（新施設）開所
31日	外来植物（オオハンゴンソウ）駆除作業実施（小沢平）
8月16・17日	福島県尾瀬地区植生復元調査実施
23日	第1回尾瀬・日光国立公園二ホンジカ対策広域協議会に出席（web）
29日	福島県尾瀬地区植生復元調査実施
9月13日	尾瀬ガイド協会理事会に出席（臨時・web）
14日	ツキノワグマ生息状況等に係るミズナラ豊凶調査実施
10月5日	外来植物（オオハンゴンソウ）繁茂状況調査（小沢平）
9日	ありがとう尾瀬清掃活動実施
14日	林野庁による大江湿原シカ柵撤去作業に参加
14・15日	ツキノワグマ生息状況等に係るブナ豊凶調査実施
16日	研究見本園シカ柵格納ボランティア作業実施
17日	ありがとう尾瀬清掃活動実施
18日	至仏山東面登山道整備（柵倒し）実施
31日	尾瀬山の鼻ビジターセンター閉所
31日	尾瀬沼ビジターセンター閉所
11月6・7日	ぐんまフェア出展（イオン太田）
25・26日	令和3年度第1回冬期調査実施
12月10日～15日	NHK「わたしの尾瀬」写真展（高崎展）及び表彰式開催
17日	尾瀬ガイド協会理事会に出席（web）
1月7日～12日	NHK「わたしの尾瀬」写真展（前橋展）
26日	尾瀬国立公園利用アクションプラン検討小委員会に出席（web）
2月25日	第2回尾瀬・日光国立公園二ホンジカ対策広域協議会に出席（web）

新型コロナウイルス感染症の影響による主な中止事業

- ◆研究見本園シカ柵設置ボランティアツアー
- ◆ごみ持ち帰り運動キャンペーン
- ◆尾瀬ボランティア講座
- ◆尾瀬自然解説ガイド研修会
- ◆尾瀬サミット2021

令和4年度シーズンの尾瀬についてのお知らせ

■ 道路開通・交通規制

- ① 群馬県側の道路開通予定が以下のとおり公表されています。

【大清水】4月15日（金）午前10時 【鳩待峠】4月22日（金）午前10時

- ② 鳩待峠・沼山峠で交通規制が実施されます。

鳩待峠では116日間マイカー及び二輪車（オートバイなど）の規制が行われます。沼山峠ではシーズンを通して全車両（ただし、許可車及びシャトルバス等を除く）が規制されます（詳細は、尾瀬保護財団ホームページ等でご確認ください）。

■ 尾瀬山開き

新潟県魚沼市で6月1日（水）【予定】に、奥只見ダムにてセレモニーが開催される予定ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては規模を縮小する可能性があります。

※この山開きはセレモニーであり、尾瀬周辺道路の冬期閉鎖が解除されるのは早いところで4月下旬頃です。春先は豊富に残雪がありますので、十分な装備を整えて入山してください。

■ 至仏山

植生保護の観点より、例年実施している残雪期の登山道閉鎖については、次のとおりです。

【登山道閉鎖期間】 5月6日（金）～6月30日（木）【予定】

※雪の状況等に応じて、期間が変更になる場合があります。

その他にも、様々なルールがありますので、注意して利用してください

（詳細は、尾瀬保護財団ホームページ等でご確認ください）。



■ ビジターセンター開所

【尾瀬山の鼻ビジターセンター】……5月中旬【予定】

【尾瀬沼ビジターセンター】……5月14日（土）

■ 尾瀬の情報収集

- ① 尾瀬ビジターセンターブログ

尾瀬山の鼻ビジターセンターと尾瀬沼ビジターセンターの職員が尾瀬の様子を毎日お届けしておりますので、尾瀬に行く際にぜひご活用ください。

- ② ライブカメラ

尾瀬の今の様子をライブカメラで見ることができます。尾瀬保護財団ホームページの下部にリンクがありますので、ぜひご覧ください。

- ③ 尾瀬ハイキングガイド

登山道の難易度分けを行っておりますので、ご自身のレベルに合った登山道選びにご活用ください。尾瀬保護財団のホームページからダウンロードできます。

■ 尾瀬認定ガイド

- ★ ガイド依頼の際は、尾瀬認定ガイドをご活用ください。

尾瀬の魅力、貴重さ、保護活動の状況等を伝え、安全や行程管理を行う尾瀬認定ガイドを、環境教育やエコツアアのガイドに是非ご活用ください。



尾瀬ボランティア情報

このコーナーでは、尾瀬ボランティアの活動を紹介します。

NHK「わたしの尾瀬」写真展（高崎展・前橋展）の運営にご協力いただきました

今回をもって25回の歴史に幕を閉じることとなったNHK「わたしの尾瀬」写真展。運営に当たっては、設営作業から会場でのコロナ対策や作品解説、撤収作業に至るまで、延べ60名の尾瀬ボランティアの皆さんにご協力いただきました。

作品解説では、豊富な知識や実体験をもとに、被写体からその背景に至るまで幅広くお話しいただきました。会場を訪れた方も、フレームに収められた尾瀬の魅力をより一層感じ取ることができたのではないかと思います。



NHK「わたしの尾瀬」高崎展の様子

尾瀬ボランティアの皆さん、令和3年度もありがとうございました！

今年度の活動者数は、新型コロナ以前とは比較になりませんが、昨年度に比べると延べ人数・実人数ともに増加しました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

毎年、前のシーズンの振り返りと意見交換を行っている「尾瀬ボランティア総会」。直近2回は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりましたが、今年度はオンラインにて開催することとなりました。本紙作成時期の都合により、総会の模様を誌面でお伝えすることは叶いませんが、皆さんからのご意見はしっかりと今後活用させていただきます。

来シーズンがどのような状況となるかはまだ分かりませんが、今年度以上に、色々な活動を実施できればと願っています。



小沢平での外来植物除去作業

尾瀬ボランティアを募集しています

財団では、尾瀬の貴重な自然を国民の宝として大切に保護し、将来へと引き継いでいくために、尾瀬地区の利用者に対する普及啓発活動、環境美化活動、施設の管理運営の支援等を行う「尾瀬ボランティア」の登録希望者を募集しています。

(1) 受付期間 随時受け付けています。

(2) 応募にあたってのご注意 ～研修・登録が必要です～

活動を始める前に、尾瀬ボランティアへの登録を行います。登録のためには、通常4月から開始する通信研修と6～7月頃に行う現地研修の両方を修了する必要があります。

※詳しくは財団ホームページをご覧ください。(<https://www.oze-fnd.or.jp/ozg/vol/>)

※研修の日程は変更となる場合があります。

【問い合わせ先】 公益財団法人 尾瀬保護財団（尾瀬ボランティア担当）

TEL：027-220-4431 / FAX：027-220-4421

特別プレゼント企画

いつも「はるかな尾瀬」をご覧いただいている皆様に、抽選でプレゼントをご用意いたしました。

①② NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテスト審査員

写真家新井幸人さん・今井隆一さん撮影の尾瀬の特大写真パネル（各1名様）

（第24回NHK「わたしの尾瀬」写真展のために作成した写真パネルとなります。目視で確認した限り、傷・汚れはありませんが、複数の会場で展示を行ったものであることをご理解の上、ご応募ください。）



↑ 新井幸人さん撮影

「尾瀬・さわやかに【竜宮より至仏山】」

↑ 今井隆一さん撮影

「尾瀬沼光景」



※送料を実費分ご負担いただきます。緩衝材で梱包した状態で着払い便でお送りする予定です。（参考：関東圏内は約3,000円です）

③ 赤城自然園の2022年度ご招待券（10名様）

「四季折々の自然を楽しむ森、赤城自然園」

木々が芽吹き若葉が瑞々しい春。色とりどりの花の競演が始まります。山野草の女王としても知られる約25,000本のシラネアオイの群生、清楚で上品な雰囲気漂う約3,600本のヤマシャクヤク、日本有数規模のシャクナゲ、ツツジ類、白い苞が揺れるハンカチノキ。森を楽しむプログラムもご用意して、皆様のご来園をお待ちしております。



【イベント情報】 園内スポットガイド

4～11月開園日 10：00～／13：00～

【インフォメーション】 赤城自然園 TEL：0279-56-5211

群馬県渋川市赤城町南赤城山892

開園日：4～11月：（6～11月は火曜日定休、祝日は開園）

12～3月：土・日・月曜日（年末年始除く）

入園料：大人（高校生以上）／1,000円 こども／無料



詳しくは で

<https://akagishizenen.jp>



ご応募方法

以下の項目についてご記入いただき、ハガキもしくはメールでご応募ください。（締め切り：2022年5月16日（月））

1. 希望するプレゼントの番号を記入（①～③）
2. 尾瀬の好きなおとことその理由
3. 読んでみたい機関誌の記事
4. 氏名
5. プレゼント送付先住所
6. ご連絡先（電話番号）

●ハガキの送り先：群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県庁20階 尾瀬保護財団 機関誌プレゼント係宛

●メールの送り先：harukanaoze@oze-fnd.or.jp

- ・当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。ただし、写真パネルの当選者の方には、発送前にご連絡いたします。
- ・ご応募いただいた個人情報をご第三者へ提供することはありません。なお、いただいたコメントは今後の誌面作成の参考とさせていただきます。ほかに、誌面にてお名前を伏せた上でご紹介させていただくことがあります。
- ・プレゼントはご好意で提供いただいたものですので、当選者ご自身でお楽しみいただき、転売等はお控え下さい。

— 皆様からのたくさんのご応募をお待ちしております —

このたび、尾瀬保護財団では、ご寄付のメニュー（手段）として新たに「**寄付型自動販売機**」をご用意しました。社内や街頭に寄付型自動販売機を設置いただくことにより、その収益（※1）の一部を尾瀬保護財団にご寄付いただくというものです。

（※1）収益とは、自動販売機会社様から設置先様に支払われる「販売手数料」のことです。

休息の1杯を、尾瀬の礎に。

皆様からお預かりをしたご寄付は、尾瀬の美しい自然を守り継ぐための活動（※2）に充てられます。

（※2）情報発信、尾瀬ビジターセンターの管理運営、入山マナーの啓発、ボランティアの育成支援、登山道の整備、野生動物対策など。



▲尾瀬保護財団オリジナルデザイン自動販売機（イメージ）

個人・団体・企業の皆様からご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



導入から設置（ご寄付）まで

STEP ①

ご相談

TELまたはMailでお問い合わせください。

STEP ②

現地調査（自動販売機会社）

電源やスペース等、設置環境を調査します。

STEP ③

提案（自動販売機会社）

機種や商品の内容、お支払いする販売手数料について提案します。

調整（尾瀬保護財団）

協議の上、販売手数料の中から寄付金額を設定いただけます。

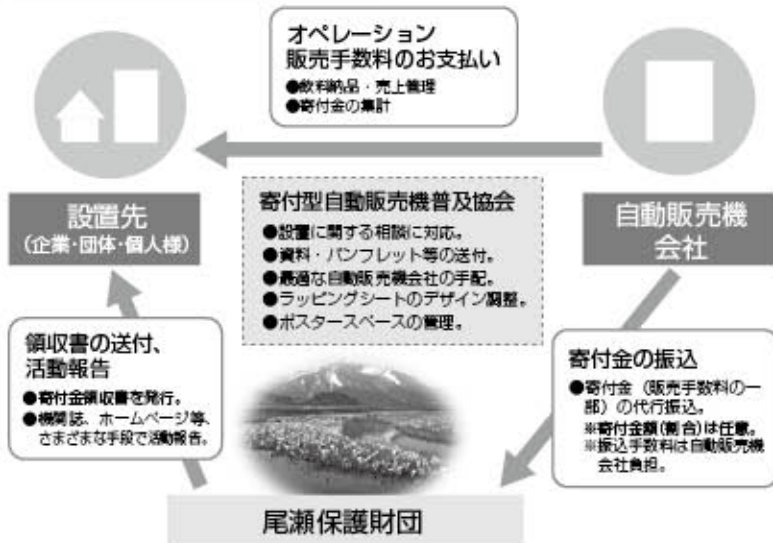
STEP ④

設置決定

ラッピングデザイン、設置日を確認いただけます。

ご寄付の仕組み

※必要に応じて、三者（設置希望者様・財団・協会）でWeb打合せをさせていただきます。



【寄付型自動販売機に関するお問い合わせ先】

NPO法人寄付型自動販売機普及協会

TEL：0120-937-650 Mail：info@kjf.or.jp

【ご寄付・財団に関するお問い合わせ先】

公益財団法人 尾瀬保護財団（総務課 寄付担当）

TEL：027-220-4431 Mail：info@oze-fnd.or.jp

設置

設置後、1本目の販売から寄付金が発生します。

※月毎に領収書を発行します。

※尾瀬保護財団への寄付金は、税の優遇措置を受けられます。



寄付のお願い — 尾瀬保護財団では、広く寄付をお願いしております —

当財団は、尾瀬国立公園において、利用者に対し自然への理解を深めるための解説活動や、適正な利用に関する普及啓発を実施するとともに、各種の環境保全対策や施設の管理運営等を行い、尾瀬の優れた自然環境の保全に寄与する活動を続けております。

■ 所得税、法人税、個人県民税、個人市町村民税について

尾瀬保護財団へ寄付をすると優遇措置が受けられます。詳しくは、当財団ホームページをご確認ください。
※所得税、法人税の詳細については最寄りの税務署に、県民税、市町村民税については、お住まいの都道府県、市町村にお問い合わせください。

■ 特別協賛寄付・協賛寄付について

企業・団体の皆様とより良いパートナーシップを築けるよう、特別協賛寄付、協賛寄付の制度を設けています。

■ 寄付の方法

当財団へご寄付いただく場合は、財団事務局へご来訪いただくか、ご連絡の上、下記口座にお振込をお願いいたします。振込手数料は寄付者のご負担となりますのでご了承ください。

福島県	東邦銀行県庁支店	普通	1078095	新潟県	第四北越銀行県庁支店	普通	1182791
	福島銀行本店営業部	普通	0590088		第四北越銀行新潟県庁支店	普通	0199366
	大東銀行福島支店	普通	1287138		大光銀行新潟支店	普通	0837334
群馬県	群馬銀行県庁支店	普通	0515428	詳細は財団事務局(☎027-220-4431)にお問い合わせください。			
	東和銀行本店営業部	普通	0975531				

カネコ種苗株式会社様からご寄付をいただきました。

当財団は、2021年7月1日付でカネコ種苗株式会社様、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社様と「三者覚書」を締結し、格別のご支援を賜っております。



当該寄付は、カネコ種苗様本社内設置の寄付型自動販売機【左写真】の収益（販売手数料）について、コカ・コーラボトラーズジャパン様を通じて当財団に毎月ご入金（ご寄付）をいただくというものです。

カネコ種苗様におかれましては、2022年3月のご寄付により今年度の累計金額が10万円を超える見込です。

改めまして、毎月のあたたかいご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後とも、末永いお付き合いをさせていただければ幸いです。

カネコ種苗株式会社様のご紹介

- 代表者：代表取締役社長 金子 昌彦（敬称略）
- 所在地（本社）：群馬県前橋市古市町1-50-12
- ホームページ（URL）：<http://www.kanekoseeds.jp/>

カネコ種苗様は、1895年創業の農業総合企業です。
「ハイテクと国際化にチャレンジします」という企業理念のもと、先進的な育種技術を駆使して野菜や花の新品種を開発するとともに、業界に先駆けてバイオテクノロジー研究に着手、成果を上げています。
また、国際化に対応し、国内の16支店・6営業所の他、海外3事業所を拠点に、貿易部門でも実績を上げています。

特別協賛寄付者のご紹介 ※2月28日現在、五十音順、敬称略

あいおいニッセイ同和損保
MS&AD INSURANCE GROUP
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
通算寄付額 3,396,790円

顧客と時代のニーズを追い求めて…
糸井ホールディングス(株)
糸井ホールディングス株式会社
通算寄付額 7,200,000円

心の産業グループ
エコ計画
環境・食・貢献をテーマに!
株式会社エコ計画
通算寄付額 6,000,000円

三条駒草山の会
通算寄付額 1,000,000円

一生涯のパートナー
第一生命
第一生命保険株式会社 通算寄付額 1,000,000円

meiji
株式会社明治 通算寄付額 3,450,000円

Asset Management One アセットマネジメントOne株式会社
 通算寄付額 39,479,469円
 投資の力で未来をはぐむ

尾瀬紀行

尾瀬紀行(信託ファンド)で収受した信託報酬の一部をご寄付いただいております。平成19年より今回が15回目のご寄付となります。

通算寄付額 78,958,937円

GB 群馬銀行
 株式会社群馬銀行 通算寄付額 37,101,564円(※)
(※) 尾瀬紀行(くんでん証券株分)、横断再寄付、くんでんSDGは私票債、株主優待制度「寄付コース」、その他財団設立当初の一般寄付を含む。

第四北越銀行
 DAISHI HOKUETSU BANK
 株式会社第四北越銀行 通算寄付額 6,956,427円

第四北越証券
 Daishi Hokuetsu Securities
 第四北越証券株式会社
 通算寄付額 1,891,132円

すべてを地域のために
東邦銀行
 株式会社東邦銀行 通算寄付額 14,137,245円(※)
(※) 尾瀬紀行(とうほう証券株分)を含む。

協賛寄付者のご紹介

※ 2月28日現在、五十音順、敬称略

T.I 株式会社 市瀬

株式会社市瀬 通算寄付額 385,440円

「遊ぶ」を支え、環境と未来をひらく



関東いすゞ自動車株式会社
 通算寄付額 300,000円



クラブツーリズム株式会社
 通算寄付額 1,250,000円

一般財団法人群馬県警察厚生会
 通算寄付額 1,100,000円

群馬県ビルメンテナンス協同組合
 通算寄付額 2,200,000円



群馬トヨペット

群馬トヨペット株式会社 通算寄付額 1,479,290円

GN 群馬日産自動車株式会社
 群馬日産自動車株式会社 通算寄付額 900,000円

KDDI株式会社
 通算寄付額 456,700円

株式会社ジーシーシー

株式会社ジーシーシー 通算寄付額 600,000円



スマーク伊勢崎
 通算寄付額 1,000,000円

利根郡信用金庫
 利根郡信用金庫 通算寄付額 3,745,390円

このまちの笑顔をふやそう。



株式会社とりせん
 通算寄付額 2,778,562円

NICHINEN

株式会社ニチネン 通算寄付額 1,500,000円



ひかり接骨院
 通算寄付額 631,000円

その他の寄付者のご紹介

※ 令和3年11月1日～令和4年2月28日までの寄付者、五十音順、敬称略

関越交通株式会社、関本昇

表紙の風景

春の尾瀬ヶ原は雪に覆われていたかと思えば、あっという間に融けていつもの姿に変わり、その短期間に見せる早朝の一瞬の美しさには、「泡沫（うたかた）」という言葉がよく似合います。山岳湿地として尾瀬ヶ原は国内最大で、雪の多い地域だからこそ、変化に富んだ景色が来る度に私たちを幽玄な世界に引き込んでくれます。



撮影日：2021年5月6日



第25回NHK「わたしの尾瀬」写真展

柏崎展

※予定は変更になる場合があります。

《入場無料》

- 開催期間 5月24日(火)～6月5日(日)
- 会場 柏崎市立図書館(ソフィアセンター)
(新潟県柏崎市学校町2-47)



第25回風景の部 金賞「影燈」和田 正之氏



尾瀬公式Instagram

アカウント名：Oze Official Instagram

ユーザー名：@discoveroze

URL：https://www.instagram.com/discoveroze/

本アカウントでは、尾瀬国立公園と周辺地域の多様な魅力を不定期でお届けしております。



友の会 コーナー

「友の会」は、豊かな尾瀬の自然を守る財団の活動を支援して下さる方々の集まりです。

※加入・更新時期は、年4回(5月・8月・11月・2月)です

※8月1日からの加入・更新をご希望の方は6月30日までに会費の納入をお願いします。

《年会費》

個人	個人会員	1口 2,000円
	家族会員 (個人会員と同居の家族)	1口 1,500円
	ユース会員 (加入又は更新時に満22歳以下)	1口 1,500円
	賛助会員 (団体・企業等)	1口 10,000円
	特別会員 (企業等)	3年に渡る30万円以上の寄付または1回100万円以上の寄付

《特典について》

友の会に加入された方には、以下の特典を提供させていただいております。

- 友の会会員バッジ進呈(初回加入時のみ)、各種資料送付
- 財団機関誌配布：郵送にてお配りします
- 宿泊割引：尾瀬戸倉、檜枝岐村周辺宿泊割引
(休日、祝祭日前等の除外日があります。)
- 尾瀬周辺施設利用料金割引：入浴料金割引
対象施設等の詳細は財団ホームページでご確認ください。

https://www.oze-fnd.or.jp

編集後記



今回の機関誌はプレゼントのコーナーを設けました(P.12)家に飾って尾瀬をいつでも想い出せるような素晴らしいお写真をご提供くださった新井先生・今井先生、体力が心配な方も気軽に自然を楽しめる赤城自然園のご招待券をご提供くださったクレディセゾン様に大きな感謝を申し上げます!皆様のご応募とコメントを楽しみにお待ちしております。(大澤)



OZE Mobile 緊急情報・お知らせ・ライブ配信 など
スマートフォンサイト情報配信中



@oze_info



本誌は、再生紙と環境にやさしい再生植物油インキを使用しています。